



福岡市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症を始め、鳥インフルエンザや重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、エムボックスなど人獣共通感染症の発生が世界的に大きな問題となっています。

これら人獣共通感染症のまん延には、自然破壊や人口増加、気候変動、急速なグローバル化などが大きく関わっていると言われており、人と動物の健康、環境の健全性を一体のものとみなし、守っていくという「ワンヘルス」の考え方が注目されています。

福岡市は、その地理的な特性から、福岡空港・博多港を抱えるアジアのゲートウェイ都市として、国際的な感染症への対策が求められています。

人獣共通感染症の予防及びまん延防止のためには、私たち一人ひとりが地球に暮らす一員として、人の健康だけでなく動物や身の回りの自然環境にも関心を持ち、その健全性を守る取組みを進めていく必要があります。

福岡市においては「人と環境と都市活力が高い次元で調和したアジアのリーダー都市」を目指し、すべての市民が健康で安心して暮らすことができるよう、医師や獣医師をはじめ、関係機関、福岡県などと連携し、ワンヘルスの推進に取り組んでいきます。

令和7年 7月 6日

福岡市長 高島 宗一郎

